

Valentine's Day

こんにちは。中堀明美です!!もうすぐバレンタインデーですね♪
息子(大志)は、この時期になるとソワソワしております。そんな息子は最近、学校で歴史を学び始めたので色々と聞いてきます。

昔の人もバレンタインにチョコ作ってたん?
いや、バレンタインは日本の歴史じゃないよ
じゃあ、バレンタインはいつからあるん?
昔の女の人は何か男の人にプレゼントしようたん?

息子 私

庶民で未婚の女性に資産管理の権利がなかったので、プレゼントすることはほとんどありませんでした。ですが、身分の高い経済的に恵まれていた女性は、男性が身につけるもの(財布、着物生地、煙管道具)を好きな人に贈っていたようです。
遊女(花魁)は愛の証に指や爪、髪の毛を切ってプレゼントしていました。もらったお客様はそれを大事にしたそうです…
人気のある遊女はお店側からの待遇も良く、お客様からも貢物を頂いたりしていました。向こうから指名してもらえるので身を削ってまでプレゼントを渡さなくて良かったのです。

ですが、一般の遊女がお客様の事を本気で好きになった時、どうしたら振り向いてもらえるか考えた結果、小指の第一関節を切って愛する人へ渡したそうです…
今では考えられない贈り物ですが、当時では究極の愛のカタチだったのですね。また中には、一刻も早く借金を返し、遊郭から出る為、死体から切り落とした指や、本物に似せた模型を使い、お客様の心を必死に繋ぎ止めようしていた遊女もいたそうです。

自分の身を削ってでも身請けしてもらう事に必死だった遊女…そしてお金も無く、遊女という事で真剣に向き合ってもらえず自分自身の一部を渡す事でしか伝える事が出来なかつたと思うと、同じ女性として複雑な気持ちになりました。この事を息子に伝えると…「こ、怖」と一言。「それだけかい!!」ならば母も究極の愛の形をチョコで作ってみる事にしました。

チョコで指を作つてみました♪

母の愛をたんと召し上がりれ♥

バレンタインデーの起源と歴史

キリスト教の司祭ウァレンティヌス(ヴァレンタイン)を祭る日だったといわれています。3世紀のローマでは皇帝によって若者の結婚が禁じられていました。結婚をすると、戦場で国の為に命を捧げることへの、妨げになると考えられたからです。ヴァレンタインは愛し合う若者達を哀れに思い、密かに結婚をさせていましたが、皇帝に知られてしまい、処刑されてしまうのでした。その後、恋人達の守護神「聖バレンタイン」として祀られ、処刑された2月14日を聖バレンタインデーと呼ぶようになりました。後に「恋人の日」として世界中でバレンタインに贈り物をする風習が出来たそうです。贈るものは世界によって様々です。日本がチョコを贈る風習になったのは、チョコを売るために百貨店が広告でキャンペーンとして売り出したのがきっかけだそうです。

届けますっ! 大和魂

2022年2月
Vol.46

経営理念

有限会社大名は「届けますっ! 大和魂」を合言葉に
日本の歴史、古美術を発信し、貴方(お客様)の
趣味を応援するタイムマシーン企業を目指します。

今年の一文字挨拶

こんにちは、花本隆資です。
昨年もご愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。
2022年は「行」という漢字をスローガンにしていこうと思っています。昨年は、ついついやろうとしていた事をしていなかったりすることが多かった私。コロナ禍で行けなかったところへ行く。2021年に考えたことを行う。今年は必ず行うことを意識した一年にしたいと考えております。本年もどうぞ宜しくお願ひ致します。

明けましておめでとうございます。島谷貴子です。
昨年は、自分の目標を達成した一年でした。
今年は、良かったプロセス、結果を継続していく。
前向きだったモチベーションを、維持していく。
そして、今ある全てのお客様に感謝し、良き関係を維持していく。私の今年の一文字は「続」です。
本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

こんにちは。中堀明美です。私の今年の一文字は「先」です。
2021年は本当にあつという間に時間が経ちました!!
よく言えば充実していましたが、限られた時間をどうすれば上手く使えるのかを考えることが多かったです。なので2022年は「先」を見据えて行動する。仕事の効率を上げる事で時間が増え、もっとお客様(貴方様)との会話を増やせていけると嬉しいです(^^♪そしてプライベートでは、苦手な家事などをついつい後回しにしてしまうので、「先」に済ませておくように頑張りたいと思います!2022年もどうぞ宜しくお願ひ致します。

こんにちは、島谷貴子です。皆さまいかがお過ごしでしょうか?
今号から、兜の変遷、始まりについて語らせて頂きます。



語ります 大和魂

胄(兜)の変遷、始まり

古墳時代 (250年~)

兜の始まり
・「眉庇付冑」・「衝角付冑」

平安時代 (794年~)

・「巖星兜」・「一枚張筋伏兜」

鎌倉時代 (1185年~)

・「阿古陀形兜」

室町時代 南北朝時代 (1336年~)

・「筋兜」

・「変わり兜」

・「突盤形兜・桃形兜・鳥帽子形兜」

安土・桃山時代 (1573年~)

・「頭形兜」

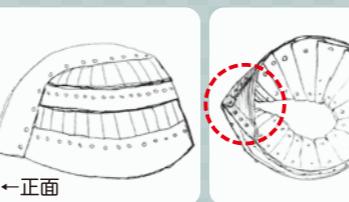
兜の始まり

胄(兜)は、打撃、斬撃や飛来、落下物などから頭部を守るための防具として作られました。

初めは、動物の毛皮などを使用していたとされていましたが、曲げたり、縫合して形作ることが比較的容易だった革や木を使って作っていましたとされています。中国より鉄器文化と冑の形が伝播し、アジア大陸中に広まり、日本にも入ってきました。

日本では独自の作り方を確立させ、「眉庇付冑」、「衝角付冑」の金属製で出来た冑を、古墳時代に作り出しました。革や木で作ったものとは違い、鉄製なので、丈夫な冑(兜)を作ることが出来るようになりました。この冑が江戸時代まで続く原型になったとされています。現代では、奈良時代以前の物には「冑」、平安時代以降の物には「兜」の字を使いますが、理由は諸説あり、はっきりしていません。

「眉庇付冑」、「衝角付冑」の特徴



↑内側から見た図

眉庇付冑は、支配者階級、豪族用の冑とされていました。材質はほとんどが鉄で作られ、現代のキャップ帽のような形です。大きい眉庇は、前頭部への攻撃と直射日光を防ぐ為に作されました。

衝角付冑は、実用性が高かったです。○印の空間が、攻撃物を避け、滑らせる為に作られていたからです。材質はほとんど鉄で作られ、船の船首に取り付けられた対艦用の兵器に似ていることから名づけされました。

鍛鉄技術が進み…

鍛鉄技術が発達し、薄く細い鉄板から、さらに頑丈な太めの鉄板が作られるようになりました。それに伴い、重ね合わせた板と板を固定するため、頑丈で大きな鉢も作れるようになってきました。頭を覆う鉢に突き出した鉢頭を「星」と呼ぶところから、星兜の名が付き、「巖星兜」が始まりました。他にもいかめしい星がついているということから、この名がつきました。頭頂部には、鳥帽子で束ねた髪を出すための「天辺の穴」と言う穴が空けられ、頭部と鉢が密着しているので、以前の冑よりも、小ぶりになってきました。さらに、髪を出すことにより冑の位置がぐらつかず安定し、頸下で紐を結ぶだけの形状となり、戦時にずれや、視界を損なうことなくなりました。

騎射戦が主流な平安期は、弓から体を守る為の大鎧に合わせて、頭を守る頑丈な星兜が流行していました。首まわりの防御の為に、大きい「鎧」が広がり、顔の防御の為に、「吹返」がつくようになりました。階級の高い武将は、装飾の為、冑の前方に鉢形という「立物」をつけるようになってきました。武将の威儀や地位を示すものとしてつけるようになりました。

この時代より、日本独特の形や機能性が発展していくようになっていくのですが、頑丈な鉄で作っている為、冑の重量で、長時間かぶっていることがとても苦痛だったそうです。敵に遭遇しない限り、背に背負うか家来に持たせるか、身分の高い人は冑を持つ専用の人と同行していました。その後、軽量化を図る為、頑丈で大きな一枚の鉄板を作れるよう、技術が発達してきました。一枚の鉄板を半球状にした、「一枚張筋伏兜」も作られるようになりました。

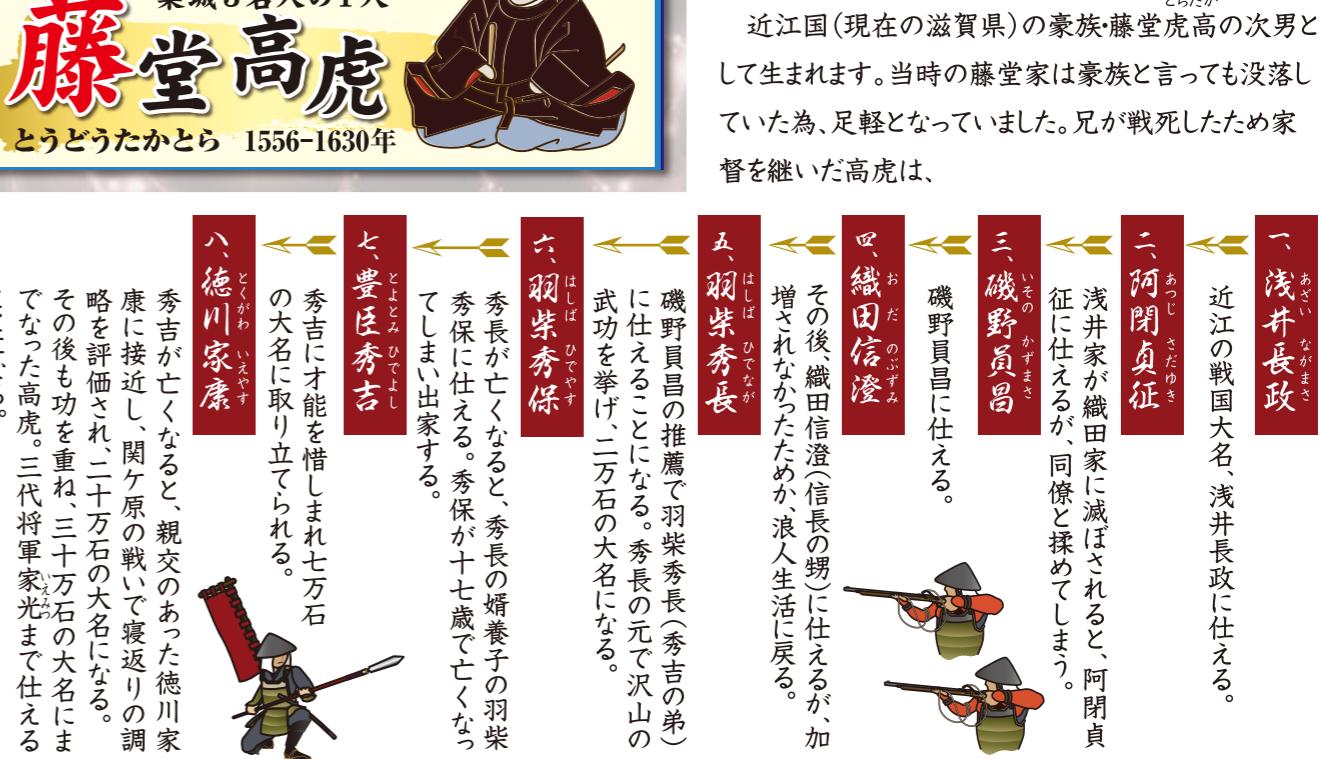
いかがでしたか? 今号は平安時代までの冑(兜)について語らせて頂きました。頭を守る為の冑(兜)が、鍛鉄技術が進んだはいいが、重量が重すぎて、長時間被れなかったことに驚きました。そして、自らの威儀や地位を示す為に、その重い冑に更に立物まで付けてしまう… 武将が、私はここにいるぞという気迫、冑に込められた想いを感じられました。

ハナエモジの ターゲットスリップ!

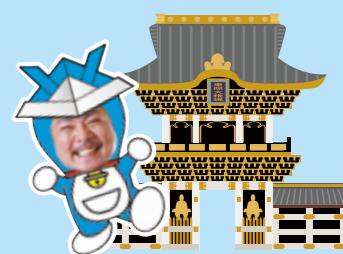
今号は築城の匠、この方に
ターゲットスリップ!

築城3名人の1人
藤堂高虎
とうどうたかとら 1556-1630年

7度の主君変え



高虎は190センチの大男であったと云われています。現代で考えても大柄ですが、当時としては今以上のインパクトがあったと思われます。その体格のお陰か、新しい主君に登用してもらいやすかったのでしょうか。外様ながら、家康から絶大な信頼を寄せられた高虎は、家康の遺言「天海僧正と高虎は我の左右にあって徳川家の守護となれ」の通り、家康が祀られている日光東照宮に高虎も祀られています。死後の世界まで共にと求められるほど、自分自身を評価してくれる主君に出会えた高虎は戦国一の幸せ者かもしれませんね。



国外でも築城!?

和歌山城を始めとして、宇和島城、今治城、篠山城など多数の築城に関わった高虎。城に留まらず、日光東照宮の造営にまで携わっています。そんな高虎は、豊臣秀吉による朝鮮出兵の際、宇喜多秀家と共に、順天倭城という城を築いています。明・朝鮮軍に水陸両面から攻められますが、見事に防ぎ、築城の名手として国内に知れ渡ることになりました。



当時の最先端の野面積みと呼ばれる石垣の積み方を取り入れたり、川や海など自然を活かした水堀にしたり、層塔型と呼ばれる築城の工期を短縮出来る技法を開発したりと建築センスが抜群な高虎。彼が令和の技術を活用したら、どんな建物を建てるのでしょうか。
見てみたい
ものですね!

